

はじめに

本書は、人材ビジネス研究寄付研究部門の3つのプロジェクトが実施した研究成果を取りまとめたものである。

第1は、「日本の人材ビジネスの機能と構造に関する総合的研究」プロジェクトで実施した「第5回 人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」を分析したものである。総合実態調査は、寄付研究部門が継続的に実施している調査で、派遣事業・請負事業・職業紹介事業などを行う人材ビジネス企業を対象として、その事業戦略や事業上の課題さらには人材ビジネスにおける生産性を明らかにすることを目的としている。総合実態調査は、継続的に取り上げている設問群と毎回トピックとして実施する設問群の2つからなり、本文では主として継続的に実施している設問群を分析している。分析に取り上げていないトピックとしての設問群にも有益な情報が含まれているので、集計結果ならびに過去4回の分析結果を紹介する資料シリーズのバックナンバーも、是非ご覧いただきたい。また、「人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」を再分析した研究成果として阿部正浩・小林徹「人材ビジネスの規模と生産性」佐藤博樹・佐野嘉秀・堀田聰子編『実証研究日本の人材ビジネス』（日本経済新聞出版社、2010年）を参照されたい。

第2のプロジェクトは「企業における人材確保の多様化と人材ビジネスの役割」である。本研究は、企業における人材確保策が多様化している実態を踏まえ、新卒採用や従来型の中途採用とは異なる新しい正社員等の人材確保策として、紹介予定派遣、トライアル雇用、デュアルシステム、インターンシップ、正社員登用などを取り上げて、それらの活用実態と課題を、企業の人材活用策との関係から明らかにしている。本書に収録した調査概要に加えて、プロジェクトの研究成果として、堀田聰子「企業の人材確保策の多様化と人材ビジネス」佐藤・佐野・堀田編『同上書』があるので参照されたい。

第3のプロジェクトは「営業の仕事と人材活用」で、営業の方法や体制が変わってきているなかで、企業の営業現場における人材活用のあり方、派遣など外部人材を含めた人材ポートフォリオ、さらにそれぞれの人材に求められる役割や分業がどのようになってきているのかを分析している。本プロジェクトでは、これまで派遣社員を対

象として就業やキャリアの実態を明らかにしてきたが、本書に含めた調査概要は、これまでの研究を踏まえて企業の営業職場における派遣社員の活用の現状を営業職場の管理職に対する調査で把握するものである。なお、個人調査からみた派遣営業職の就業実態に関しては、松浦民恵「派遣営業職活用の現状と課題：業務関与度の類型による分析」佐藤・佐野・堀田編『同上書』を参照されたい。

ご多用中にもかかわらず、3つのプロジェクトにかかわる調査にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

本研究のとりまとめに際して、人材ビジネス研究寄付研究部門の和田恵美子氏と、田村美樹氏にお世話になった。記してお礼を申しあげる。

2010年3月

佐藤博樹（東京大学社会科学研究所教授）